

2016春季交渉に関する要請書

日頃から連合山形の活動に対する格別のご理解を賜り、あらためて厚く御礼申し上げます。また、山形県内企業支援・振興に並々ならぬご努力とご尽力されていることに深く敬意を表するところであります。

さて、連合は2016春季生活闘争について、2014春季生活闘争からの基本的な視点を引き継ぎ、日本経済の「デフレからの脱却」「経済の好循環実現」のためには、すべての働く者の「底上げ・底支え」「格差是正」の実現が不可欠であるとの認識に基づき、特に中小企業で働く労働者の処遇改善に重点的に取り組む考えであります。

超少子高齢化と人口減少による労働力不足が懸念される状況にあって、地域産業の重要な担い手である中小企業の事業の成長・発展のためには、労働者の雇用環境の質的改善が必要であります。

つきましては、2016春季交渉にあたり、下記の点について、特にご配慮いただきますよう要請いたします。

記

1. 「デフレからの脱却」「経済の好循環」の起点となる消費マインドの向上、ならびに中央と地方の所得格差是正、勤労意欲向上となる月例賃金（基本賃金）改善を図っていただきたい。
2. 正規社員への転換ルールの導入促進や無期労働契約への転換促進、さらには賃金や処遇改善などの労働条件改善を図っていただきたい。
3. 男女が持てる能力を発揮できる職場を作っていくため、男女平等と男女間の賃金を含む処遇改善を図っていただきたい。
4. 職場における労働安全衛生と健康確保のため、長時間労働を是正し、ワークライフバランスをより推進していただきたい。
5. 健全な経済の発展と好循環に向けて、公正な企業間取引を図っていただきたい。

以上